

当面の工事及び業務における事務の執行について

(業 務 編)

中部地方整備局
令和2年5月

- ◆ 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえ、受発注者双方に接触機会の低減が求められており、例年に比べて入札契約事務作業が遅れる可能性。
- ◆ そのため、入札契約手続き全般の柔軟な対応等の特例的な対応を行い受発注者双方の負担を軽減し、できるだけ早く入札契約手続きが進められるよう努力。
- ◆ 併せて、「三つの密」の回避等の感染拡大防止対策を徹底。



上半期の早期執行を図ることにより景気の下支えに万全を期す

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る緊急事態宣言を踏まえ実施する特別措置

○契約手続き期間の延長

- ・当面、技術資料(企画提案書・技術提案書)の提出期限を1週間程度延長。

○手持ち業務量の評価

- ・既契約業務が新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための一時中止等に伴い工期を延伸し令和2年度に繰り越しされた業務は手持ち業務量とみなさない。

○同種又は類似実績の評価

- ・既契約業務が新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための一時中止等に伴い工期を延伸し令和2年度に繰り越しされた業務も同種又は類似実績として認める。

○技術資料(企画提案書・技術提案書)の押印省略

- ・紙入札方式により参加する等により押印が必要な場合、参加希望者と作成担当者の雇用関係が分かる資料(社員証等)の添付により、押印不要とする。

○既存資料の閲覧方法

- ・既存資料の閲覧はホームページ等に掲載し、官署への出張が不要となるよう配慮。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る緊急事態宣言を踏まえ実施する特別措置

○入札公告時における質問回答方法の拡大

- ・電子入札システムだけでなく、電子メールによる提出も可能とする。

○紙入札方式参加者の開札への立ち会い免除

- ・紙入札方式参加者が開札に立ち会わない場合であっても、再度入札を行うこととなったときにおいて再度入札を辞退したものとは取り扱わないこととし、再度入札を行うこととなったときは、参加意思の有無の確認を行う。

○低入札価格調査等による企業へのヒアリング方法の拡大

- ・電話やWeb会議を活用する。

○コンプライアンスの徹底

- ・受発注者ともにより一層のコンプライアンス意識を保持

【これまで】

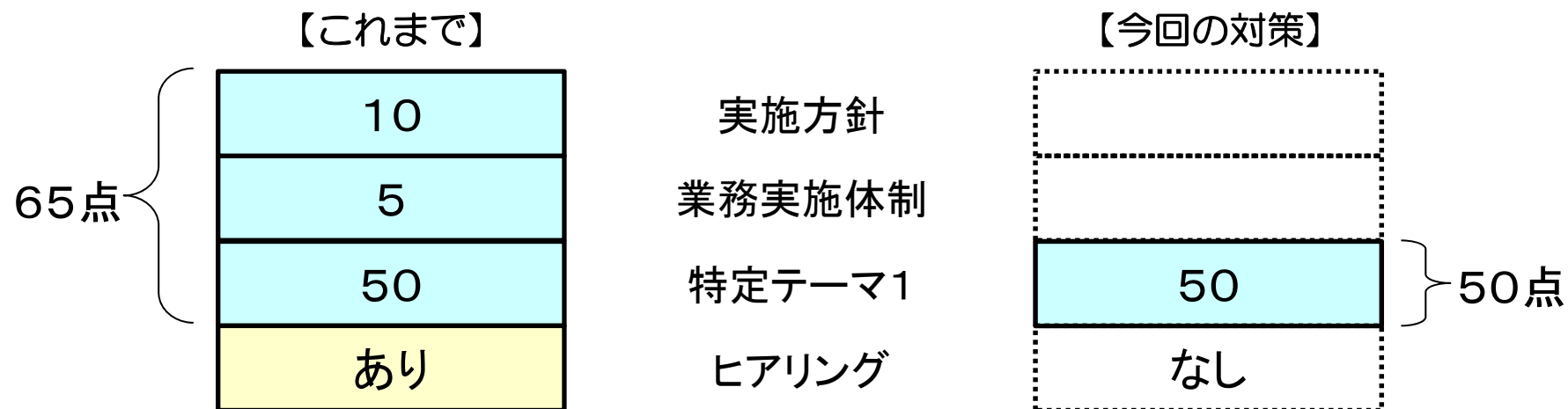
○企画提案書については、実施方針、実施体制、特定テーマについて記載し、後日ヒアリングを実施。

【今回の対策】

①受発注者の負担軽減に向け企画提案書については、特定テーマのみとする。
(ただし、枚数はA4で2枚までとする)また、ヒアリングは実施しない。
※特定テーマに対して、より具体的、効果的な提案を求める

②継続的な業務については、さらなる負担軽減を検討。

<企画提案書 標準配点>



●評価値配点割合（1：1）

【これまで】

○技術提案書については、実施方針、実施体制、特定テーマについて記載。

【今回の対策】

○業務内容を鑑み、「簡易公募型競争入札方式」もしくは「指名競争入札方式」とすることができる。

●評価値配点割合（1：2）

【これまで】

○技術提案書については、実施方針、実施体制、(特定テーマ)について記載。

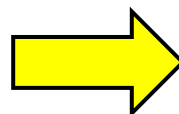
【今回の対策】

○技術提案書を「実施方針のみ」とすることができる。ヒアリングは実施しない。

入札契約手続き方法の選定について(総合評価落札方式)

●評価値配点割合 (1 : 2) 技術提案書 標準配点

【これまで】	
◆特定テーマなし・ヒアリングなし	
実施方針	15
業務実施体制	15
特定テーマ	なし
ヒアリング	なし
} 30点	
◆特定テーマあり・ヒアリングあり	
実施方針	10
業務実施体制	10
特定テーマ	10
ヒアリング	あり
} 30点	



【今回の対策】	
◆業務実施体制なし・特定テーマなし・ヒアリングなし	
実施方針	15
業務実施体制	なし
特定テーマ	なし
ヒアリング	なし
} 15点	
※【これまで】の「特定テーマなし・ヒアリングなし」の配点をベースとする	

【これまで】

○発注見通しとして、「予定業務全件」を中部地方整備局ホームページ及び入札情報サービス(PPI)にR2. 4. 1に掲載、公表。

【今回の対策】

○発注方式の見直しを含め、「予定業務全件」を中部地方整備局ホームページ及び入札情報サービス(PPI)にR2. 5. 22に掲載、更新予定。